

効果的な放置自転車対策は？

大阪公立大学大学院工学研究科・吉田長裕准教授に聞く

自転車は便利で環境に優しい乗り物ですが、放置されると様々な問題を引き起こします。放置自転車を減らすには、どんな対策が効果的でしょうか？

都市交通を専門とする大阪公立大学大学院工学研究科の吉田長裕准教授に、前田昌則区長が聞きました。

撤去には限界

前田区長 これまでも放置自転車に対する啓発活動や撤去に取り組んできましたが、放置自転車の減少にはまだまだ課題が多いというのが実感です。例えば繁華街では夜間に働く人々の歩道への駐輪が多い。月に何度も午後7時以降の夜間撤去を実施しますが、情報がSNSで広がって一斉に自転車が移動され、撤去が終わるとまた歩道に戻される。いちごっこです。

吉田准教授 放置自転車の撤去にも限界があるのが現状です。

前田 海外製の安価な自転車が増えたせいか、撤去自転車の大半は引き取りに来る人がいない。引き取られなければ、安く再販される。悪循環です。

駐輪場の利用促進

前田 駐輪場の整備も進めてきま



地域の人々を中心に、迷惑駐輪に警告エフを貼る啓発活動(北新地)

前田 私の住むマンションではマイカーを持つ居住者が減り、駐車場に空きが生じています。修繕積立金に充てる収益を確保するために、サブリースを提案しようと考えています。同じですね。

吉田 商業施設などは駐輪場の整備を義務付けられています。中にはあまり利用されていないところもあります。

前田 駐輪場の利用を促進するために、スマホで検索できる「北区駐輪場マップ」を作りました。空き情報もリアルタイムで分かります。

夜間の強制撤去にも取り組んでいる



シェアを進める

吉田 駐輪場の整備だけでは放置自転車問題は解決しません。駐輪場整備に限界がある場合は、一部をシェアサイクルのポートに置き換える方法もあります。マンションや団地にシェアサイクルのポートを置く実証実験が区内や堺市などで始まっています。乗り物やその置き場所のシェアを進めることは大切です。

前田 シェアを進めて個人所有が減れば放置自転車の減少につながりますね。

吉田 自転車シェアは、台北で1日に8回転、ニューヨークで1日4回転、国内でも1日8回転を超える事例があります。このようなモビリティのシェアは、駐輪場を少なくするだけでなく、自動車利用の減少、外出頻度の増加といった効果も期待されています。

団地にシェアサイクルのポートを設置する実証実験＝リバーサイドながら(長柄東3)



望ましい行動へ導く

前田 大阪市営駐輪場の利用料は、どこでも上限が1回150円です。条例でそう定められています。

吉田 民間駐輪場は、利便性が高い所ほど料金も高く設定されてい



吉田長裕・大阪公立大学大学院工学研究科准教授(右)と前田昌則区長



ます。公営駐輪場も需要変動の激しいエリアでは、こういった料金策への移行を再検討する余地があります。神戸市には駅から距離に応じて料金に差をつけた駐輪場があります。京都市は利用時間に応じて料金が変わる方式の導入を準備しています。

前田 経済性を重視する大阪人は、公共交通機関よりも駐輪場料金が安ければ自転車を選びます。

吉田 北区界限では上限150円の駐輪場料金を公共交通利用時と比較しながら見直さない限り、自転車駐輪需要は大きく、駐輪場整備は追い付かないと思います。

前田 シェアサイクルの実証実験では、自転車での移動は30分が目安でした。例えば駐輪場料金が地下鉄の1区間往復を上回る400円だったら、自転車よりも公共交通機関やシェアサイクルを選ぶ人が増えるのではないのでしょうか。

吉田 経済的なインセンティブで人々の交通行動を望ましい方向に誘導していくことが、これからの自転車施策や駐輪場の仕組みには必要です。

前田 放置自転車はまちの安全や美観を損ないます。誰もが快適なまちづくりへ参加するという意識で、駐輪場の利用などマナーを守って自転車を利用していただければと思います。

駐輪場で「まちづくり」社会実験 梅田東エリアに新設 環境整備も担う

放置自転車をなくす啓発活動にも取り組みます



シェアサイクルのポートも備えています

西日本最大のターミナル・大阪駅や梅田の繁華街のある梅田東エリアは放置自転車が目立つ区域です。その一角、茶屋町に、新しいスタイルの公共駐輪場が7月1日(土)にオープンします。スマホで空き情報検索も料金支払いもOK。シェアサイクルも備え、周辺の環境整備などまちづくりにも取り組みます。

一時利用専用で、収容台数は65台。うち5台分にはシェアサイクル(ハブチャリ)を備えています。

このエリアの放置自転車には「ファットバイク」と呼ば

れるタイプが目立ちました。タイヤが太く、ラック式駐輪場には置けないことも一因とみて、タイヤのサイズを問わずに利用できるチェーン式を採用しました。

スマホがあれば「北区駐輪場マップ」でリアルタイムの空き情報が分かり、QR決済で料金支払いもOK。ICOCA、PiTaPaなど交通系ICカードでも精算が可能です。

また、駐輪場の収益を活用して、放置自転車をなくす啓発活動や周辺の道路清掃など環境整備にも取り組みます。

管理運営は民間事業者を公募。「梅田東エリア放置自転車対策の強化に向けた自転車駐輪場・管理運

営等事業における公募型プロポーザル」で選定されたサイカパーキング株式会社が、駐輪場の整備から維持管理まで一体的に運営します。

人と自転車が共に快適なまちづくりに向けて駐輪場を活用する社会実験です。今後、地域や周辺企業の皆さんと一層連携し、大阪・関西万博に向けて安全で便利な、放置自転車のない美しいまちづくりを進めていきます。



サイカパーク 梅田東エリア複合型自転車駐輪場

【収容台数】65台(うちシェアサイクル5台)

【料金】最初の60分間無料、入庫後4時間まで100円、24時間150円

【運営】サイカパーキング株式会社



チェーン方式の駐輪機を設置



タイヤの太い自転車も駐輪可能



スマホで料金が支払えます(写真は他の駐輪場のもの)



交通系ICカードでもOK